

球陽 SSH 講座 11 月 2 日 (水) 化学 生徒 44 名参加

琉大教育学部准教授 照屋 俊明 先生が講座を行いました。

テーマは「探究活動のテーマ設定と研究活動の実際について」

高校生向けに丁寧に説明をしていただきました。化学が社会においてどのように活かされ、役に立っているのかを深く理解できたようです。講義中に「基本的な事象でもまだ理解できていないこともある」との言葉が、受講生の印象に残る言葉でした。

球陽 SSH 講座 11 月 9 日 (水) 地学 生徒 11 名参加

琉大理学部教授 古川 雅英 先生 の講義がありました。

テーマは「地球科学の PPAP ～高校地学から研究の最前線～」

最先端の研究をするためには「多くの研究者と協力しないといけないこと」「数学理科だけではなく、論文を書くための国語力や、英字論文を読むための英語力も必要」など、今後の探究活動や授業への取り組み方へのアドバイスをいただきました。



球陽 SSH 講座 11 月 16 日 (水) 数学 生徒 23 名参加

琉大大学院教育学研究科教授 伊禮 三之 先生の講義がありました。

テーマは「互除法とピタゴラス音階～数学と日常事象の接点を探してみる」

数学の教科書にもある互除法を長方形の最大正方形によるしきつめ問題から説明し、それがピタゴラスの音階論にあることを紹介しました。また、ピタゴラス音階を構成して紙笛を作成。6グループに分けて、それぞれ音階の異なる笛を作成し、皆でキラキラ星を演奏しました。数学が日常生活のどこに役立っているのかを発見する機会になった講義でした。

